

## 令和4年度 ASEAN向け AJEEP Scheme 4 第2回 中間ワークショップを実施しました

### 【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）は、資源エネルギー庁の委託を受けて、令和4年度のASEANに対する省エネ人材育成事業のAJEEP Scheme 4プログラムの第三弾として令和5年1月16日、ASEAN 10カ国政府の省エネ政策・制度関係者を対象に、ASEAN共通標準エネルギー管理士研修プログラムに関する第2回中間オンラインワークショップを開催しました。



1. 目的：今年度より新たに開始したAJEEP Scheme 4は、ASEANのCommon Standard Module（共通標準研修プログラム）を策定し、SAEMAS（持続的ASEANエネルギー管理士認証システム）を構築する為の支援を実施します。今年度は、各国のエネルギー管理士制度・研修プログラムとAJEEP TOT並びにAEMAS（ASEANエネルギー管理認証システム）での研修内容を比較検討してその報告書を作成すると共に、Common Standard Moduleの草案を作成する計画です。そのために、11月に実施したECAP27での議論を踏まえて、各国からこの制度に関係する2-3名の政策担当者や技術専門家を任命してワーキンググループ（WG）を作り、オンラインワークショップ（WS）を3回開催する予定で、昨年12月の第1回中間WSに続き、今回第2回中間WSをオンラインで開催しました。
2. WS出席者：参加者は、WGメンバーとしてASEAN各国から政策担当者を中心に17名、ACE (ASEAN Centre for Energy)から5名の合計22名が、またECCJからは8名が参加しました。
3. WS概要：
  - (1) 開閉会挨拶：開閉会式ではECCJとACEから、閉会では更にSAEMAS WGの代表が挨拶をしました。
  - (2) ASEAN各国からの自国でのエネルギー管理士制度と同研修プログラムの報告をベースに、AEMASとAJEEP TOTの研修プログラム詳細も併せて、各種項目での9か国比較表をACEより紹介し、各国参加者の確認を取りました。ブルネイは未記入なので追加するように依頼しました。
  - (3) ASEANのCommon Standard Module（共通標準研修プログラム）の構成案・主要項目案をECCJより提案し、各国と活発な意見交換を実施しました。次回は、ACEとタイからの案も織り込む予定です。
  - (4) 次回の第3回中間WSは2月6日とし、上記内容の詳細を作成・討議する予定です。

\* ECAP : Energy Conservation Workshop under AJEEP (ASEAN-JAPAN Energy Efficiency Partnership)  
ASEAN-日本エネルギー効率パートナーシップのもとに実施される受入研修